

麻醉科学系

日本大学麻醉科について

麻醉は生体に対する様々な侵襲に立ち向かい、その生体を安全に管理するという学問です。すなわち、心・循環器・呼吸器機能、体液・代謝の管理を臨床の最前線で行う分野で、どのような臨床分野に進むにしろ、患者の命、生体を扱う医師にとって、必須の分野のひとつと考えています。日本大学麻醉科のモットーは教育、臨床、研究の3要素をバランスよく学ぶことです。

日本大学麻醉科の歴史は古く、日本で7番目に発足した伝統のある医局であり、今年で創立64周年を迎えました。麻醉領域だけでなく、古くからペインクリニック、痛みの方面において多くの成果をあげています。現在、板橋病院と日本大学病院の2つの大学病院と、複数の関連施設で麻醉科業務に携わっています。

本項を読んで麻醉に興味を持たれた方は是非私たちのホームページをご覧ください。質問や見学の希望など気軽にご相談下さい。皆さん、楽しく一緒に働きましょう。

スタッフおよび指導体制

麻醉科学会指導医、専門医が主に指導を行っています。専門性の高い心臓麻醉や小児麻醉などは学外からも指導医を招き、更なる知識習得に努めています。心臓麻醉ではすでにスタンダードになった経食道エコーもJB-POT（周術期経食道心エコー）の資格者が指導を行っており、鈴木教授によるAnesthesia Morning Caféと題した勉強会や若手による専門医試験対策の勉強会、Web抄読会、月2回の症例検討会なども行なっています。

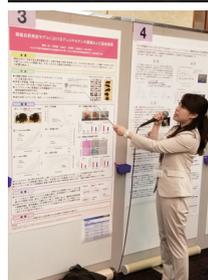
麻醉だけでなくペインクリニック分野も認定医による指導を行っており、比較的早い学年からトリガーポイントや神経ブロックなど徐々に無理なく技術習得できるように計画しています。緩和ケアに関しては、緩和ケアチームと連携して痛みの治療に当たっているほか、関連の専門病院で学ぶことも可能です。



教育に力を注いでおり、手術室で身につけた技術はペインクリニックや集中治療など多方面にいかされます



下は“我々の聖書”『ミラー麻醉科学』著書ミラー先生と



学会発表の仕方を懇切に指導し、国内外の学会に積極的に参加しています

神経ブロックのワークショップを学内外で開催し、好評を得ています



各病院の特色

板橋病院

手術室は13室、年間約8000件の麻酔症例があり、新生児から高齢者まで、まんべんなく様々な麻酔を経験することが可能です。周産期医療センターや救命救急センターを併設しているため緊急度の高い周産期麻酔や、より重症な麻酔を多く経験します。また、エコーガイド下神経ブロック症例が豊富であり、全身の種々のブロックの習得が可能です。ペインクリニックにおいてもエコーを用いた神経ブロックを応用することで患者安全と安定した効果を得ています。また、ICUには聖マリアンナ医科大学 麻酔科・救急医学の先生方にも勤務していただいておりますので、幅広い周術期管理の知識を得ることができます。

日本大学病院

2014年10月1日より新病院が開業し、駿河台日本大学病病院から日本大学病院と名称も変更となり、年間約3000例の麻酔管理を行っています。最新のハイブリッド手術室ではTAVI（Transcatheter Aortic Valve Implantation：経カテーテル大動脈弁留置術）の麻酔管理も行なっています。そのほかには、各科の内視鏡手術を多く経験できます。手の外科症例も多く、エコーガイド下腕神経叢ブロックが習熟可能です。一例一例を大切に周術期管理を深く学ぶことができることが特色です。また、お茶の水という交通の便の良い立地条件にあり、ペインクリニックの症例数も多く、種々の疼痛疾患治療を経験することが可能です。

麻酔科における研修の流れ

	専修医コース	大学院コース
研究による学位取得	麻酔科標榜医 認定医取得研修 (大学病院)	麻酔科標榜医 認定医取得研修 ＋ 研究による学位申請
	麻酔科専門医取得研修 (関連・大学病院)	
	ペインクリニック専門医取得研修 麻酔指導医取得研修 (関連・大学病院)	

各種資格について

2年間の麻酔科研修を行い、麻酔科標榜医（厚生労働省）と麻酔科認定医（日本麻酔科学会）を取得できます。日本専門医機構による認定制度に準拠し、日本大学医学部附属板橋病院では、麻酔科専門研修プログラムを作成しています。例年、9月に第1回の採用が行われる予定です。

見学など、随時可能ですので、ご興味のある方は、E-mail：nihon.anesthesiology@gmail.comまでご連絡ください。他にペインクリニック認定医、心臓血管麻酔学会認定医などの資格も取得可能です。

研究の紹介

麻酔領域

- ・術後痛管理
- ・筋弛緩薬と拮抗薬、筋弛緩モニタリング法
- ・麻酔薬と脳血流
- ・エコー下各種末梢神経ブロック など

疼痛領域

- ・疼痛患者における自律神経活動変化
- ・麻酔薬・鎮痛薬の影響 ・がん疼痛管理
- ・局所麻酔薬の安全性と神経毒性
- ・低反応レベルレーザーの鎮痛
- ・ペインクリニックにおける漢方薬の応用 など

上記以外にも多くの研究をテーマとし積極的に海外の学会でも発表しています。



Neuromuscular Meeting で受賞

各種イベント

各種学会参加はもちろん、春と秋には外部講師を招きセミナーを開催しています。また、エコーガイド下神経ブロックを積極的に行っており、そのノウハウは医局はもとより、院内や他施設でも指導を行い好評です。



問い合わせ先

麻酔科 医局長 北島 治

TEL : 03-3972-8111 (内線 8331)

E-mail : nihon.anesthesiology@gmail.com



麻酔科ホームページ (医局ブログ更新中!)

<http://nihon-anesthesiology.jp>